

結核って どんな病気？

結核は、「結核菌」という細菌が原因で起こる慢性感染症で、主に肺に炎症が起き、咳や痰、発熱といった症状が特徴です。
過去の病気と思われがちですが、世界ではいまだに多くの方が命を落とす重大な感染症です。

日本 4割が80歳以上の高齢者

日本で結核がまん延した時代に感染を受けた方が、高齢となつてから免疫力の低下やそれに伴うさまざまな健康問題によって発病するケースが多数を占めています。

日本 20代の患者の9割が外国生まれ

就業や留学などで海外からの入国者が増えており、その多くは結核罹患率が高い途上国からの若年層です。

海外 感染症による死因のトップ

特にアジア、アフリカの国々は保健医療・結核対策の整備の遅れや貧困の問題を抱え、適切な治療を受けることが難しく、深刻な問題となっています。

結核は人から人につうつる病気です。
毎年健康診断を受けて、気になる症状がある時は病院に行きましょう！



ごあいさつ

「結核は昔の病気でしょう？」

私は今でも、そう聞かれることがあります。けれど実際には、日本でも世界でも、結核に苦しむ人は今なお少なくありません。

治療を続けたくても続けられない人、発見が遅れてしまう人、支えてくれる人が近くにいない人――。

結核の問題は、病気だけでなく、「社会の弱さ」が映し出される問題でもあります。

だからこそ私は、結核をなくすためには、医療だけでなく、人々との支え合いが必要だと思っています。

複十字シール募金は、長い間、多くの方のやさしい気持ちによって支えられてきました。

そのお気持ちたちが、研究、医療、予防活動、そして世界の結核対策へとつながっています。

未来の誰かを守る力として、今年も温かいご支援をお願いいたします。

公益財団法人結核予防会
理事長 尾身 茂

結核予防会とは

日本で結核がまん延していた1939年に内閣総理大臣に賜った皇后陛下の令旨に基づき設立されました。以来、日本と世界から結核をなくすための活動を続けています。

複十字シール運動のはじまり

1904年にデンマークでクリスマスシールが発行され、その収益金は結核に苦しむ人々のために役立てられました。シールを使った募金活動は世界に広がり、現在も各国で行われています。結核予防会は1952年に最初のシールを発行しました。

+ 複十字章は世界共通の結核予防運動のシンボルです。

お問い合わせ

複十字シール募金は下記にて随時受け付けています。
お気軽にご相談ください。

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

(結核予防会 栃木県支部)

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1
とちぎ健康の森3F



TEL:028-623-8181

結核

ゼロ



複十字シール運動
イメージキャラクター
シールぼうや

の世界へ！

複十字シール運動

8.1⑨-12.31⑩ (募金は随時受け付けています)

複十字シール運動は、結核のない世界をつくる運動です。
その実現のために募金活動と普及啓発活動を行っています。

複十字シールには、
健康を願う
メッセージが
込められています！



主催：**+** 公益財団法人結核予防会
Japan Anti-Tuberculosis Association (JATA)

後援：厚生労働省・文部科学省・公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会



複十字シール運動から、結核ゼロの世界へ！

複十字シールには、健康を願うメッセージが込められています！

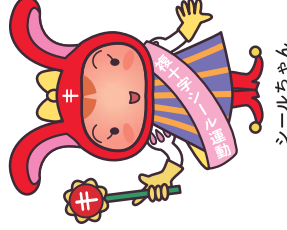


「複十字シール運動」は、結核のない世界をつくることを目的に1952年に始まりました。結核予防会及び全国の協力団体が窓口となり、**募金活動と普及啓発活動**を行っています。

皆様からいただいた募金は、主に結核の国際協力、結核や肺がん・COPD(慢性閉塞性肺疾患)などの普及啓発や結核予防団体の支援、調査研究等に役立てられており、日本と世界の人々の健康を守ることに繋がっています。



シールハイハイ



シールちゃん

2026年度の複十字シールのテーマは「スポーツと健康」です。

日本のスポーツは歴史や文化と関係しています。子供の頃は、遊びや体育の授業を通して様々なスポーツを経験し、相手を尊重し合うフェアな考えを学びました。世代を超えても、体を動かすことは人々の心の健康と喜びにつながっています。

結核で失われる命(年間)

(2024年)

日本 ▶ 約 **1,461人**

海外 ▶ 約 **123万人**

結核を発病する人(年間)

(2024年)

日本 ▶ 約 **10,051人**

海外 ▶ 約 **1,070万人**

海外

国内の活動で培った技術、知識、経験を活かして、世界の人々を結核から守るために**国際協力**に取り組んでいます。

- 医療従事者への技術指導
- 正しい知識の普及啓発
- 患者さんを支える住民ボランティアの育成

募金による主な活動地域

アフリカ(ザンビア)
アジア(カンボジア、ネパール、ミャンマー)



結核検診の様子(ネパール)



医療従事者への技術指導(ネパール)



ボランティアによる結核啓発活動(ザンビア)

日本

患者数が減少し、結核への関心が低下しているため、**普及啓発**に重点をおいています。

- 全国の協力団体を通じた啓発キャンペーンの実施
- 結核についてわかりやすく解説したパンフレットなど教育広報資料の作成、配布



結核・呼吸器感染症予防週間ポスター



啓発キャンペーン



結核・呼吸器感染症のパンフレット

2025年度募金報告

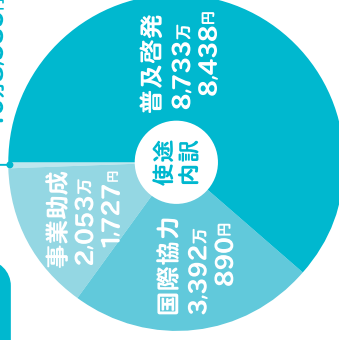
調査研究
40万8,535円

募金収入

1億4,622万5,157円

事業費(諸経費除く)

1億4,219万9,590円



税の優遇措置

募金は、寄附金控除の対象となり、税制上の優遇措置を受けることができます。

表彰制度

年間個人50万円、法人100万円以上の募金いただいた方に、結核予防会の規程により、結核予防会総裁名の感謝状の贈呈がございます。